

第2学年B組 音楽科学習誘導案

教諭 松岡 かおり

単元 くりかえしを 見つけて

(本校教育課程 音楽科単元 第6項 6月中旬～7月上旬 6時間)

「単元の問題」を提起する根拠

○ 子どもの興味・関心の実態

本学級の子どもは、本校5年生が取り組む「小倉祇園太鼓」の練習が始まると、「太鼓の音が聴こえてきたね。」「太鼓に合わせて楽しい声が聴こえるね。」と発言するなど、お祭りの音楽に興味を示している。そのような子どもに、「お祭りの音楽は、どうして楽しく聴こえるのかな。」と尋ねると、「同じ言葉が繰り返されていて、頭の中に残るから。」「繰り返しが多いから、すぐに覚えて歌うことができるから。」と発言していた。このように、同じ旋律が繰り返されることで、まとまりのある音楽になることや親しみやすい音楽になるといった反復のよさについての関心が高まりつつある。

○ 子どもの能力の実態

本学級の子どもは、第1学年「せんりつでよびかけあおう」の学習を通して、互いの動きを真似したり、呼びかけ合いながら歌ったりすることができるようになってきている。また、音楽づくりにおいても、情景を思い浮かべ、様々な楽器を用いて、グループで音をつなげて音楽をつくることができている。音楽をつくることの楽しさを味わうことはできている。しかし、思いを明確にして、音楽をつくるまでには至っていない。また、どのような反復の仕方があるのかを理解したり、まとまりのある音楽にするためのリズムの組み合わせ方を考えたりする技能は十分とは言えない。

○ 社会からの要求

21世紀以降、インターネットの普及によって人間と音楽の関わり方は大きく変化してきた。また、2020年の新型コロナウイルス感染症によって全人類が未曾有の自体に直面する中、音楽活動が著しく制限され、音楽活動を行う意味そのものが問われてきた。音楽科授業の特徴は、合唱や合奏、音楽づくり等、集団で学習する必然性が生まれやすいことである。集団で音楽活動ができる経験は、子どもの成長にとって有意義であり、将来につながる学びであると言える。学級全体やグループの小集団で演奏や作品をつくる過程での協働学習は、音楽的役割の自覚や主体的な学びから、社会性、同調性、共感性、コミュニケーション能力を身に付けることができる。さらに、音楽づくりにおいては、音楽で自分を表現する、無のところから何かを立ち上げるといった創造性を培うことができるものである。また、集団でついたり、考えたりする過程に教育的な意味があるものである。このことは、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさを見いだしたりすることができる上でも大変意義深い。

○ 教科系統上の要求

本学級の子どもは、第1学年では、簡単な音楽をつくる活動を通して、反復を使って言葉でリズムをつくることを学んできている。第2学年では、これまでに身の回りの音を声で表し、反復を使って音楽をつくることを学んでいる。ここでは、表現や鑑賞の学習を通して、音楽の仕組みの一つである「反復」が生み出す、旋律やリズムが繰り返される音楽の面白さに気付く学習を行う。また、反復を生かして、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり、思いに合った表現をするために必要な技能を身に付けたりしていく。「反復」は音楽のいろいろなところで見つけることのできる音楽の仕組みであることから、今後の表現や鑑賞の活動においての基礎となっていく。このことは、中学年「くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくろう」の学習や、高学年「打楽器の音色や音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくろう」の学習へと発展していく。

単元の問題

いろいろな くりかえしを 見つけよう。

- 「かねが なる」を うたって、くりかえしを 見つけよう。
- 「トルコこうしんきょく」を きいて、くりかえしを 見つけよう。
- くりかえしを つかって、「おまつりの音楽」を つくろう。

目 標

<知識及び技能>

- 曲想と反復などの音楽の構造との関わりやリズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、反復を用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けることができる。

<思考力, 判断力, 表現力等>

- リズム, 旋律, フレーズ, 反復などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, どのように歌うかやリズムの組み合わせ方を工夫し, どのように音を音楽にしていくかについて思いをもったり, 曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりすることができる。

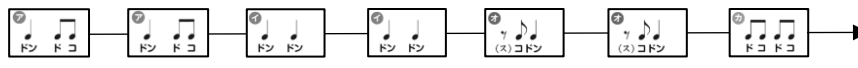
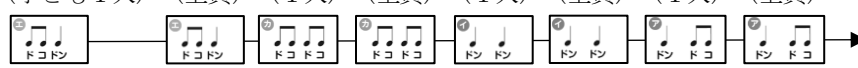


<学びに向かう力, 人間性等>

- 旋律やリズムの反復に興味をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や音楽づくり, 鑑賞の学習に取り組み, 様々な音楽に見られる旋律やリズムの反復に親しもうとする。

誘 導 の 着 眼

【着眼1】 音楽を形づくっている要素の焦点化を図る活動

音楽を形づくっている要素に自然に親しむことができるように, 音楽を形づくっている要素の焦点化を図る活動を, 全時間の導入段階に位置付ける。

音楽を形づくっている要素	焦点化を図る活動
<ul style="list-style-type: none"> ○ 反復 ○ リズム ○ 拍 ○ フレーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ まねっこ遊び 6枚のリズムカードから, リズムを選択し, 前の人を選んだリズムと同じリズムを手拍子と口唱歌で真似をしていく遊びの活動を行う。 (教師) → (全員) → (教師) → (全員) → (教師) → (全員) → (教師)・・・  (子ども1人) → (全員) → (1人) → (全員) → (1人) → (全員) → (1人) → (全員)・・・  ○ リズムリレー 自分の好きなリズムを選択し, それを友達とつないでリレーをする活動を行う。  <p>【2小節のまとまりのリレー】</p> 

【着眼2】 思いをもって音楽をつくる学び合いへの支援

子どもが他者と関わりながら, 反復を使ってリズムの組み合わせ方を工夫したり, 思いを明確にしたりすることができるように, 以下のような支援を行う。

ねらい	教師の支援
反復を使って, リズムの組み合わせ方を工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット端末で並び替えたリズムカードの組み合わせ方を板書で視覚的に示したり, 口唱歌で歌ったり手拍子をしたりする活動を設定する。 ○ どのような「おまつりの音楽」にしたいのかという「思い」や選んだ「リズム」, 「反復の仕方」の視点を基に交流する場を設定する。
思いを明確にすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのような「おまつりの音楽」にしたいかを確かめる時間を設定する。 ○ 「なぜ, そのようなリズムを選択したのか。」「なぜ, その繰り返しにしたのか。」を問い, 自分の思いをロイロノートにまとめたり, その思いを友達に伝えたりする活動を設定する。その際, 「思い」「反復の仕方」「リズム」で共通しているところや違いに着目して友達のつくった音楽を聴く活動を仕組む。

展開計画（総時間数 6 時間）

	主な学習活動	教師のねらいとその手立て	評価の規準と観点
出会う・見通す	1 「小倉祇園太鼓」の映像を視聴したり、既習楽曲や「トルコこうしんきょく」「かねがなる」を聴いたりして、学習の見通しをもつ。 1	○ 学習の見通しをもつことができるように、「小倉祇園太鼓」の映像を視聴したり、既習楽曲や歌唱教材「かねがなる」を歌ったり、鑑賞曲「トルコこうしんきょく」を聴いたりして、楽曲の共通点について話し合う活動を設定する。	○ 旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら進んで学習活動に取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)
	中心問題 いろいろな くりかえしを 見つけよう。		
挑む	分析問題 1 「かねがなる」を うたって、くりかえしを 見つけよう。		
	2 歌唱教材「かねがなる」の旋律の動きに注目し、旋律の繰り返しに気付いたり、繰り返しを生かして歌ったりする。 1	○ 歌唱教材「かねがなる」の旋律の動きに注目し、旋律の動きに気付いたり、繰り返しを生かして歌ったりすることができるように、2小節ごとにリレー唱をしたり、「ゴンゴンゴン」の部分反復して歌う組と、旋律を歌詞で歌う組に分かれ、重ねて歌ったりする活動を設定する。	○ 曲想と反復などの音楽の構造との関わりに気付いている。(知識・技能)
	分析問題 2 「トルコこうしんきょく」を きいて、くりかえしを 見つけよう。		
	3 鑑賞曲「トルコこうしんきょく」の旋律の繰り返しや、強弱の変化に気を付けて曲全体を聴く。 1	○ 鑑賞曲「トルコこうしんきょく」の旋律の繰り返しや強弱の変化に気を付けて曲全体を味わって聴くことができるように、音楽に合わせて体を動かしたり、情景を想像しながら聴いたりする活動を設定する。	○ 曲想と反復などの音楽の構造との関わりに気付いている。(知識)
分析問題 3 くりかえしを つかって、「おまつりの音楽」をつくろう。			
	4 繰り返しの使ったリズムの組み合わせ方を工夫し、「おまつりの音楽」をつくる。 ＜本時 2 / 2＞ 2	○ 繰り返しの面白さに気付くことができるように、小倉祇園太鼓の映像を視聴したり、いろいろなリズムを組み合わせさせて楽しんだりする活動を設定する。 ○ 反復の仕方を考えてリズムの組み合わせ方を工夫し、思いをもって「おまつりの音楽」をつくることができるように、タブレット端末でリズムカードを組み合わせたり、つくった音楽の「思い」や「選んだリズム」、「反復の仕方」の視点を基に交流したりする活動を設定する。	○ リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 (知識・技能) ○ 反復の仕方を考えてリズムの組み合わせ方を工夫し、思いをもって「おまつりの音楽」をつくらせている。 (思考・判断・表現)
味わう	5 繰り返しの仕方を考えて、友達と「おまつりの音楽」をつくらせたり、聴き合ったりする。 1	○ 思いに合った「おまつりの音楽」をつくることのできるように、思いが同じ友達とペアになり、これまでの学習を生かして繰り返しの仕方を考えて「おまつりの音楽」をつくらせたり、つくった音楽の繰り返しに着目して聴き合ったりする活動を設定する。	○ 思いに合った表現にするために必要な、音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 (知識・技能)






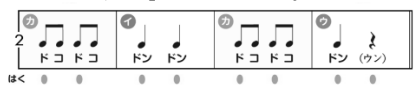
(1) 主眼

タブレット端末でリズムカードを組み合わせたたり、つくった音楽の「思い」や「選んだリズム」, 「反復の仕方」の視点を基に交流したりする活動を通して、反復の仕方を考えてリズムの組み合わせ方を工夫し、思いをもって「おまつりの音楽」をつくることのできるようになる。

(2) 準備

拡大リズムカード

(3) 展開

学習活動と子どもの意識	誘導上の留意点(○)と評価(※)
<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>ぼくは、「元気なおまつりの音楽」にしたいな。みんなが、どんなリズムを使ったのか、どのような繰り返しをしているのかを見て、もっと「元気なおまつりの音楽」になるようにリズムを選んだり、繰り返しの仕方を考えたりしたいな。</p> 	<p>○ 本単元で取り扱う音楽を形づくっている要素に自然に親しむことができるように、「まねっこ遊び」や反復を用いた「リズムリレー」をする活動を設定する。 【着眼1】</p> <p>○ 本時学習のめあてをつかむことができるように、学びの足あとや前時につくった音楽を基に前時までの学習をふり返ったり、どのような「おまつりの音楽」をつくりたいかについて確かめたりする活動を設定する。</p>
<p>くりかえしのしかたを考えて、「おまつりの音楽」をつくろう。</p>	
<p>2 「おまつりの音楽」をつくる。</p> <p>「元気なおまつりの音楽」するには、このリズムで繰り返してみよう。</p>  <p>同じリズムの繰り返しばかりでは、面白くないな。最後を変えてみよう。</p>  <p>「元気なおまつりの音楽」にしたいから、㊦のリズムを繰り返したよ。</p>  <p>同じ「元気なおまつりの音楽」にしたいけれど、私は、ゆっくり太鼓を叩く感じの㊥と㊦のリズムを組み合わせて、繰り返したよ。</p>  <p>同じ「元気なおまつりの音楽」だけれど、リズムも繰り返しの仕方違うね。もっと、繰り返しの仕方を変えてみよう。</p>	<p>○ いろいろな反復の仕方を試しながらリズムの組み合わせ方を工夫することができるように、タブレット端末でリズムカードを並べ替えたり、つくった音楽を聴いたりする活動を設定する。</p> <p>○ 思いをもって「おまつりの音楽」をつくることのできるように、「思い」や「反復の仕方」, 「選んだリズム」の視点を基に、友達とリズムカードを並べたり、自分とは異なる思いの「おまつりの音楽」を聴いたりしながら、自由に交流できる場を設定する。また、繰り返しの仕方やリズムの組み合わせ方を共有し、口唱歌で歌ったり手拍子をしたりする活動を設定する。 【着眼2】</p>
<p>3 自分の「おまつりの音楽」についてふり返る。</p> <p>1枚目と3枚目を㊦のリズムを繰り返して、最後は㊧の「ドン・ウン」で終わるリズムにしたら、「元気なおまつりの音楽」ができたよ。</p> 	<p>○ 思いを明確にすることができるように、「なぜそのようなリズムの組み合わせ方にしたのか。」と問い、自分の思いをまとめたり、思いを友達に伝えたりする活動を設定する。 【着眼2】</p> <p>※ 反復の仕方を考えてリズムの組み合わせ方を工夫し、思いをもって「おまつりの音楽」をつくっている。</p>
<p>4 本時の学習をふり返り、次時への学習の見通しをもつ。</p> <p>リズムを選んで、色々な繰り返しの仕方を試して、自分が好きなリズムと繰り返して「元気なおまつりの音楽」をつくって、楽しかったな。次は、友達とつなげて音楽をつくってみたいな。</p>	<p>○ 本時の学習をふり返り、次時への学習の見通しをもつことができるように、いろいろな反復の仕方に気づき、反復を使って音楽をつくったことを称賛し、次の活動へとつながるように助言する。</p>